

3. 水道水ができるまで



山田ダム
武庫川以外に山田ダムの水も水源として活用しています。貯水量は約 17.4 万m³あります。



武庫川取水口
水位調整ができ増水・渇水時にも安定した取水が可能です。



薬品沈澱池
凝集剤（ポリ塩化アルミニウム）を注入します。原水中の浮遊物は汚れの固まり（フロック）となり沈みます。



活性炭ろ過池
活性炭により有機物や臭気、有害物質等を除去します。



急速ろ過池
沈澱池で取り除けなかった小さなごみを砂の槽でこしてきれいな水にし、浄水池に貯めます。



天日乾燥場
浄水場の沈澱池に堆積した泥は天日乾燥場に搬出され、天日による自然乾燥を行います。



大阪湾埋め立て地
天日乾燥場で乾燥させた泥は大阪湾の最終処分場にて埋立処分を行います。



沈砂池
大きなごみや砂を沈め取り除きます。



青野ダム
三田市の水がめとして昭和61年に完成し、放流水を取水して活用しています。貯水量は930万m³あります。



送水ポンプ
浄水池に貯めた水道水を配水池へ送り出すためのポンプです。



配水池
水道水を貯蔵する倉庫で、水の使用量に応じて水量を調整します。また、地震など災害時は給水拠点として利用します。

